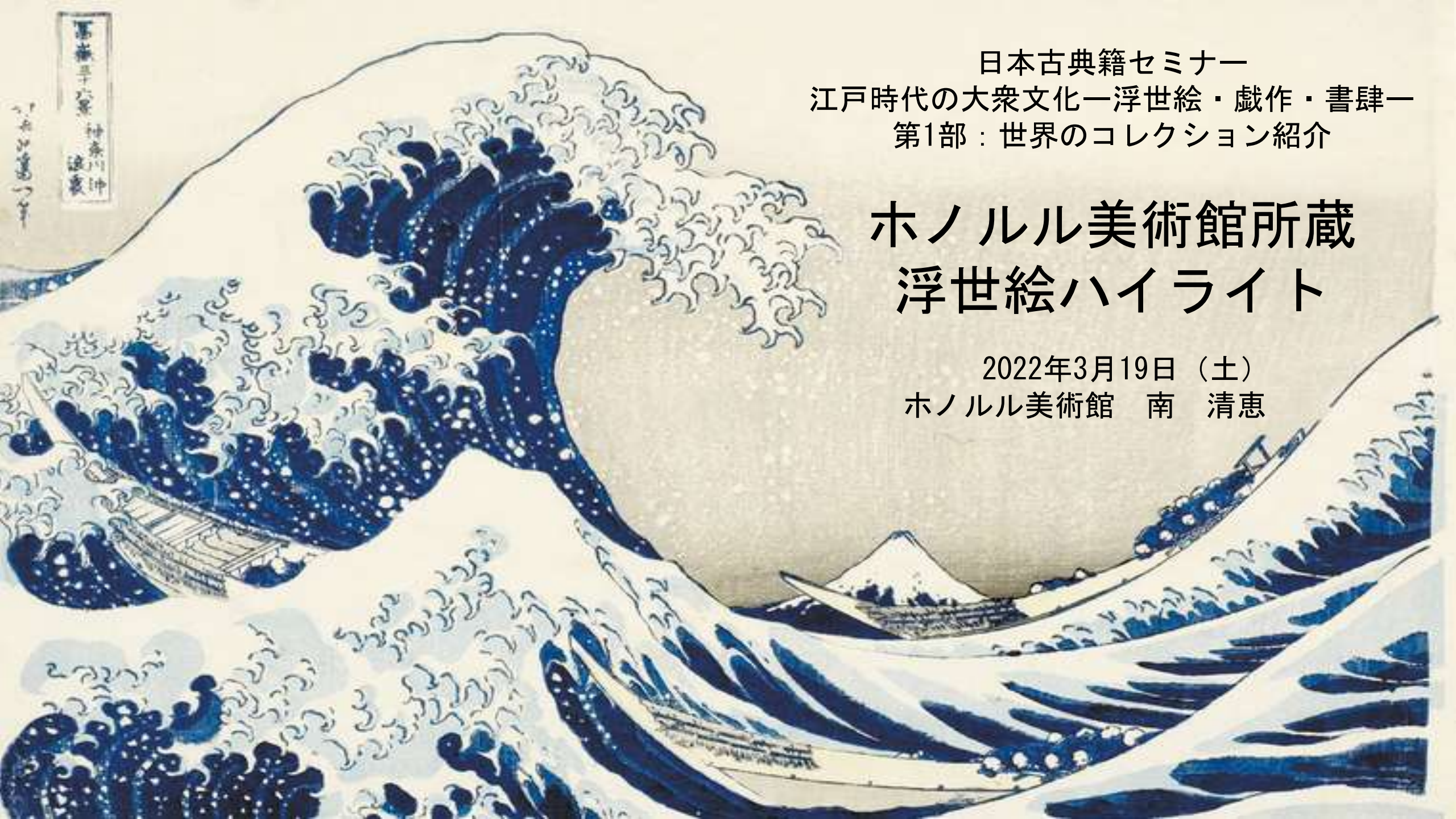


The background of the slide is a reproduction of the famous Japanese woodblock print 'The Great Wave off Kanagawa' by Katsushika Hokusai. The image depicts a massive, curling blue wave with white foam, about to crash over several small boats. In the distance, the snow-capped Mount Fuji is visible under a pale sky. The print is characterized by its vibrant blue ink and fine line work.

日本古典籍セミナー
江戸時代の大衆文化—浮世絵・戯作・書肆—
第1部：世界のコレクション紹介

ホノルル美術館所蔵 浮世絵ハイライト

2022年3月19日（土）
ホノルル美術館 南 清恵



ホノルル美術館

宣教師の娘であるアナ・ライス・クックにより、1927年アメリカ合衆国ハワイ州に開館。

米国博物館協会の認定を受けた総合美術館で、

クックファミリーの邸宅であった美術館の建物は、アメリカの歴史的建造物に指定されている。

コレクションは50,000点を上回り、東洋美術、西洋美術、ハワイの美術、現代美術、そしてテキスタイルと多岐にわたっている。



浮世絵

喜多川歌麿(1753-1806)「姿見七人化粧」

歌川広重(1797-1858)「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」

東洲斎写楽(生没年不詳)「市川蝦蔵の竹村定之進」

葛飾北斎(1760-1849)「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

歌川国芳(1797-1861)「相馬の古内裏」

ホノルル美術館所蔵 浮世絵ハイライト

<コレクション概要>



浮世絵版画の所蔵数は、現在約10,000点



ボストン美術館、シカゴ美術館に続き全米第3位の所蔵数



歌川広重作品の所蔵数は世界一



初期浮世絵から新版画まで、時代・ジャンルともに幅広いコレクションである



浮世絵コレクションの核となるのは、ピューリッツァー賞を受賞した
アメリカ人作家、ジェームズ・ミッチェナーからの寄贈による

ホノルル美術館所蔵 浮世絵ハイライト

Part 1. 浮世絵の制作様式の変遷

Part 2. 主題別浮世絵紹介

Part 3. 比べて楽しむ浮世絵

Part1. 浮世絵の制作様式の変遷

墨摺絵：墨一色で摺られた木版画で、版本挿絵から独立した一枚絵



丹絵：鉛に硫黄と亜鉛を加えて焼いてできた丹色を墨摺絵に筆で彩色した浮世絵



紅絵：墨摺絵の上に紅花からとれた赤を主とする色を筆彩色したもの



漆絵：墨に膠を混ぜたものを黒の部分に塗り、漆のような光沢を出したもの



紅摺絵：紅色を主とし黄色や草色などを使った初期の色摺版画。量産が可能になる



錦絵：多色摺木版画。10色以上の色版を重ねた豪華な作品も登場。浮世絵黄金期へ

1-1. 浮世絵版画の出発点「墨摺絵」

浮世絵界のパイオニア登場！！



浮世絵の祖と言われる菱川師宣による
墨摺絵本『美人絵づくし』(1683)



兄・曾我十郎を助けに颯爽と馬を走らせる曾我五郎
奥村政信「武者絵尽」(c. 1711-16)

墨摺絵

江戸の美人vsイケメン



300年前の美人？！
懷月堂度繁「立美人図」(c. 1711-16)



二代市川團十郎と中村竹三郎を描いた役者絵
初代鳥居清倍「あげまき助六」(c. 1716)
江戸一番のイケメン・助六登場！

墨摺絵

本当は誰？政信が仕掛けるトリッキーな「やつし絵」

『徒然草』を著した吉田兼好の姿を遊女に置き換え
奥村政信「浮世つれづれ草」(c. 1711-16)



須磨で侘しい日々を過ごす『源氏物語』の光源氏を
当世風の美人に置き換え
奥村政信「浮世須磨」(c. 1711-36)

1-2. 力強さが魅力「丹絵」

これぞ鳥居派のお家芸、躍動感あふれる
「瓢箪足(ひょうたんあし)」
「蚯蚓描(みみずがき)」

相手が熊でも象でもなんのその！

こちらは市川家のお家芸「荒事」
を描いた歌舞伎のワンシーン
鳥居清峯「元祖清信図 初代市
川團十郎と山中平九郎」
(1812)

清倍による大々判丹絵の最高傑作の
一つに数えられている
初代鳥居清倍「金太郎と熊」
(c. 1711-16)



丹絵

歌舞伎役者も美人も丹色でより華やかに！



初代鳥居清倍「立美人図」
(c. 1711-16)

初代鳥居清倍「四代市村竹之丞
と藤岡大吉」(c. 1714-15)



1-3. ほんのり柔らか「紅絵」

浮世絵のキーとなる色、紅色の登場



鳥居清忠
「音曲正本を持つ娘」 (c. 1718)

柱絵ブームの立役者、奥村政信
「初代尾上菊五郎の曾我五郎」
(c. 1744-51)



物見窓から見つめる女性たちの恋心を淡い紅色で表現
奥村政信「若衆と物見窓」 (c. 1744-45)

1-4. 紅絵の発展様式 「漆絵」

光沢のある黒の登場で
浮世絵がさらに魅力的に！

ドキドキする臨場感を演出
二代鳥居清信「鷹に猿」
(c. 1730)

漆のように艶のある黒と、黄銅粉が
蒔かれた豪華な一点
奥村利信「山下金作の大磯のとら」
(1724)



漆絵

古典のエピソードを黒を効かせて再現

『平家物語』の屋島の合戦を描いた
二代鳥居清倍「官女玉虫」(c. 1716-36)

平安時代の女流歌人、小野小町と
大伴黒主との緊迫するやりとりを描いた
二代鳥居清倍「七小町ひとつ 草紙洗小町」
(c. 1730)



1-5.

多色摺がよいよスタート「紅摺絵」

版による彩色で浮世絵制作は新たなステージへ



1753年初演の歌舞伎「百万騎兵太平記」より
鳥居清広
「中村助五郎の大森彦七もりながと
中村富十郎のかすがののふじ」(1753)

紅摺絵の時代を代表する絵師
石川豊信「見立紅葉狩」(c. 1760)

紅摺絵

画風の上で、鳥居派正系の最後をかざる絵師であった
鳥居清満「見立翁・千歳・三番叟」(c. 1760)



豊信の最盛期(宝暦年間)に制作された本格的な大判紅摺絵の秀作
石川豊信「佐野川市松と瀬川菊次郎の相合傘」(c. 1752)



1-6. 錦織のように美しい多色摺木版画「錦絵」

鈴木春信の登場で生まれた錦絵は、裕福な江戸の趣味人たちの間で
行われていた絵暦交換会の流行により生まれた



旗本・大久保巨川の趣味として作られたものを
後に商品として一般に売り出された巨川の
名前を削った後摺。
鈴木春信「座敷八景 扇の晴嵐」(c. 1766-72)

印により松伯制という趣味人の作と知られる絵暦。
鈴木春信「見立忠臣蔵 文を読む男女」(1765)



錦絵

錦絵の第一人者、鈴木春信の最高傑作！
「雪中相合傘」(c. 1767)



絵の具をつけずに摺ることで
エンボス効果を出す空摺



Part 2. 主題別浮世絵紹介



美人画



大首絵



役者絵



風景画



花鳥画



武者絵



明治時代の
浮世絵



新版画



茶屋の看板娘
鈴木春信「塀屋おそで」(c. 1769)

2-1. 百花繚乱江戸の華 「美人画」

可憐であどけない春信美人



煙草屋の看板娘
鈴木春信「浮世美人寄花 路孝娘 瞿麦」
(c. 1769)

美人画

天明期の美人画を代表する絵師
八頭身で健康的、プロポーション抜群な清長美人



背景に描かれた日本橋、江戸城、そして富士山など江戸の景色の描写にも絵師としてのセンスが光る
鳥居清長「日本橋の往来」(c1786)



料理屋の二階座敷で月見の宴の準備をしている女性達
三枚続の連続画面を効果的に使っている
鳥居清長「両国楼上夜の涼」(1787)

美人画

歌麿の良きライバル
気品のある清廉な栄之美人



福寿草があることから新春の
初衣装を図示
鳥文斎栄之
「若那初衣装 松葉屋染之助」
(c. 1800)



『伊勢物語』を觀賞中
鳥文斎栄之
「青楼美人六花仙 松葉屋喜瀬川」
(c. 1795)

美人画

美人たちの何気ない日常の一瞬



三枚続きの横長の大きな画面で
激しい風の動きを表現
歌川豊国「花に嵐」(c. 1795-1825)

夏の日の日常を団扇の絵柄に
歌川国政「蚊やり火」(c. 1800)

柱絵に多くの秀作を残す
磯田湖竜斎「蚊帳をつる美人」(c. 1772)



歌川派の祖、歌川豊春
「風の縁」(c. 1770)



一筆斎文調
「かぎ屋のお仙」
(c. 1772)

美人画

真打登場！女性の内面までも描き出す美人画の最高峰
浮世絵黄金期を代表する喜多川歌麿が描く歌麿美人



「咲分ヶ言葉の花 おちゃっぴい」
(1802)



「婦人相学十躰 ぽっぴんを吹く娘」(c. 1791-92)



「教訓親の目鑑 ばくれん」
(1802)

美人画

江戸のアイドル、噂の寛政三美人



両国の水茶屋の看板娘
「高島おひさ」(c. 1792-93)



富本節の名取で才色兼備な芸者
「富本豊ひな」(c. 1790)



浅草の水茶屋の看板娘
「難波屋おきた」(c. 1793)

美人画

おきた vs おひさの美人競べ。勝者はどっち？



おきた、おひさの首引き
(c. 1793-94)

おきた、おひさの花合わせ
(c. 1789-1801)



美人画

美人をもっとアップでみたい！
髪の毛一本にまでこだわる
繊細なタッチ

雲母摺

地潰し
(黄潰し)

毛割
(八重毛)

「江戸町一丁目 扇屋内花扇」
(c. 1802)

「姿見七人化粧 おきた」
(c. 1792-93)



2-2. 表情をもっと間近で「大首絵」

ファンの心理は今も昔も変わらない



歌川国政
「市川蝦蔵の碓井荒太郎定光」
(1796)



歌川豊国
「二代中村仲蔵の松王丸」
(1796)



勝川春英
「市川蝦蔵の山がっ斧八実は文覚」
(1791)

大首絵

デフォルメしすぎ?! 謎多き絵師、東洲斎写楽



「二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉」
(1794)



「市川蝦蔵の竹村定之進」
(1794)



「松本米三郎のけはい坂少将
実はしのぶ」(1794)

大首絵



「三代目沢村宗十郎の大岸蔵人」
(1794)



「谷村虎蔵の鷺塚八平次」
(1794)



「四代目岩井半四郎の乳人重の井」
(1794)

2-3. 歌舞伎スターのブロマイド 「役者絵」

歌川豊国「役者舞台之姿絵」
(c. 1794-95)



岩井半四郎 IV



尾上松助



松本幸四郎 IV



市川八百蔵 III



市川高麗蔵 III



岩井半四郎 IV

役者絵 (続絵)

歌舞伎ファン必見！
6枚続の大作で
舞台の裏側を覗いてみよう

歌川国貞「踊形容楽屋之図」
(1856)



2-4. ヒーロー参上！ 「武者絵」

古典物語から飛び出した英雄達

歌川国貞「御曹司牛若と武蔵坊弁慶」(1859)



女性だって勇ましい！
歌川国芳「巴御前」
(1852)



歌川国貞
「本朝高名尽 九朗判官義経」
(c. 1830)

武者絵

「武者絵の国芳」として知られた歌川国芳の代表作！三枚続で迫力満点

「相馬の古内裏」(c. 1844)



武者絵

「壇ノ浦大合戦之図」(c. 1844)



武者絵

「清盛入道布引滝遊覧」(c. 1830)



2-5. まだ見ぬ憧れの土地へ「風景画」

世界に誇る名作、葛飾北斎「富嶽三十六景」(c. 1830-32)



巨大な波に翻弄される船と船乗り達の姿を描いた
壮大な構想の作品「神奈川沖浪裏」



晩夏の早朝などに見られる赤く輝く富士を描いた「凱風快晴」
赤富士の名でも知られている

風景画

葛飾北斎「富嶽三十六景」(c. 1830-32)



藍の濃淡だけで表現した初摺の「甲州石班沢」
雲や漁師の服に色が加えられた後摺もある



右下に閃く稲妻と、それをものともしない富士の
静かな佇まいとのコントラストがみごとな「山下白雨」

風景画

北斎が描いたその他の風景画シリーズ



「諸国滝廻り
下野黒髪山きりふりの滝」
(c. 1832)



「千絵の海
五島鯨突」
(c. 1833)



「詩歌写真鏡
安倍の仲麿」
(c. 1833)

「諸国名橋奇覧
飛越の堺つりばし」
(c. 1834)



「百人一首乳母が絵説き
有原業平」(c. 1835-36)

風景画

日本橋から京都まで、旅の景色を叙情的な感性で描いた大ベストセラー
歌川広重「東海道五十三次之内(保永堂)」(c. 1833-34)



東海道の旅の出发点「日本橋 朝之景」
後版では人物が増えて、賑やかな画面
になっている

雪景色に
静寂を感じる
「蒲原 夜之景」



夕立の激しい雨と煙る竹やぶの
描写がみごとな「庄野 白雨」

風景画

浮世絵風景画の頂点
歌川広重「名所江戸百景」(1857)



画家フィンセント・ファン・ゴッホにより
模写されたことでも知られる
「亀戸梅屋敷」



大鷲の鋭い目と大胆な構図が印象的な
「深川洲崎十萬坪」



線描で描かれたにわか雨が
臨場感を演出
「大はしあたけの夕立」

風景画

個性炸裂！
北斎・広重以外の風景画

溪斎英泉
「日光山名所之内
裏見ヶ滝 三滝之其一景」(c. 1843-46)



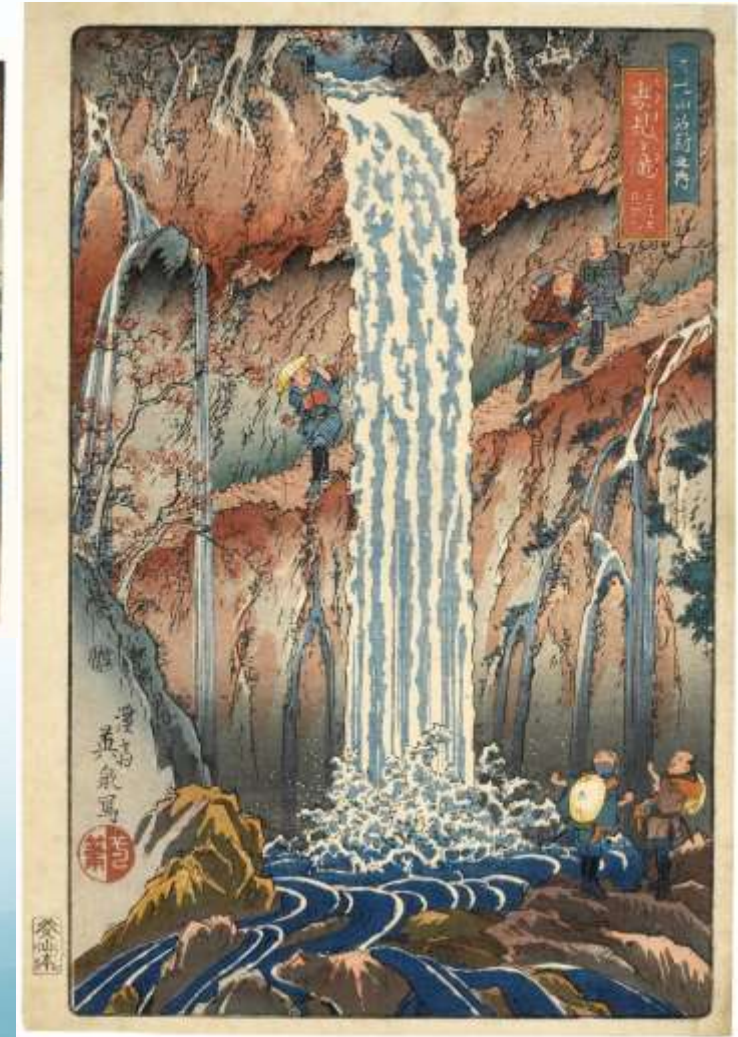
岳亭五岳
「天保山勝景一覽
天保山末広橋月夜の夜」
(1834)



歌川国貞「二見浦曙の図」
(c. 1832)



魚屋北溪「諸国名所 越中立山」
(c. 1834-35)



2-6.

四季折々の美しさ 「花鳥画」

観察眼の鋭さに驚かされる
葛飾北斎の花鳥画の世界

「桔梗にとんぼ」(c. 1834)



「鶯と垂桜」(c. 1834)



「翡翠 鳶尾艸 瞿麦」
(c. 1834)

花鳥画

短冊の中の四季の移ろい
歌川広重の花鳥画



(右)
「海棠に鸞」 (c. 1832)

(中)
「紫陽花に川蟬」 (c. 1832)

(左)
「月に雁」 (c. 1836)



2-7. 明治時代の錦絵



安達吟光「大日本婦人束髪図鑑」(1885)



三代歌川広重/落合芳幾「隅田川花の賑わい」(1871)



橋本周延「東の花牡丹の四季咲」(1878)



歌川芳虎「東京蒸気汽車之図」(1871)

2-8. 新版画

版元を中心とした絵師・彫師・摺師の分業による
伝統的な浮世絵の手法を踏襲し制作された木版画

ノスタルジックな雰囲気の中に高度な木版技術が光る風景画



川瀬巴水
「東京二十景 芝増上寺」
(1925)



吉田博「瀬戸内海集 光る海」
(1926)



笠松紫浪「浅草観音堂大提灯」
(1934)



川瀬巴水
「東京二十景 馬込の月」
(1930)

伊藤深水「吹雪」(1932)



新版画

新版画界を代表するその他の絵師達



高橋松亭
「谷中大王寺」
(c. 1920)



小原祥邨
「柘榴と鸚鵡」
(1927)



名取春仙
「春仙似顔絵集 実川延若の団七九郎兵衛」(1926)

橋口五葉「髪梳ける女」(1920)



Charles Bartlett
“Surfriders Honolulu”
(C. 1919)

新版画

江戸の美人は
「大正モダンガール」へ

山村耕花
「踊り 上海ニューカルトン初見」
(1924)



伊東深水
「赤と白」(1969)



小早川清
「近代時世粧の内 ほろ酔ひ」
(1930)

Part 3. 比べて楽しむ浮世絵

初摺
後摺

絵暦を
売り物に

版木と完成品

間違い探し

許可前
許可後

花魁って
才色兼備！

世界の巨匠が
愛した浮世絵

初摺 後摺

初摺として最初に摺られたものはどっち？

(A)



(B)

歌川広重「東海道五十三次之内(保永堂) 蒲原 夜の景」
(c. 1833-34)

東海道
五拾五
里
浦原



廣重画



(A)



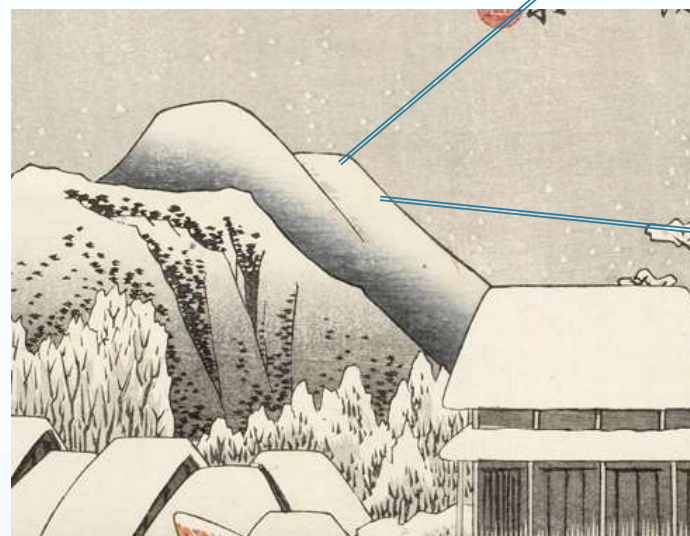
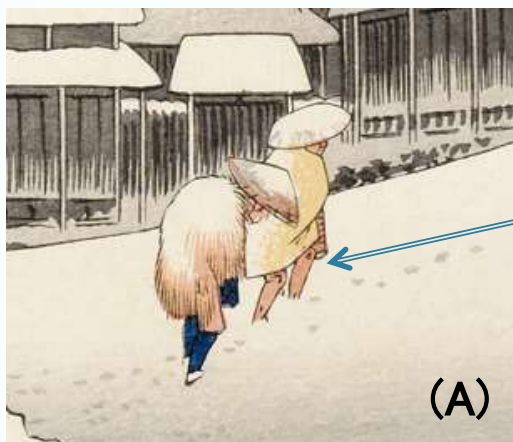
東海道
五拾二
之内
蒲原

張重勇

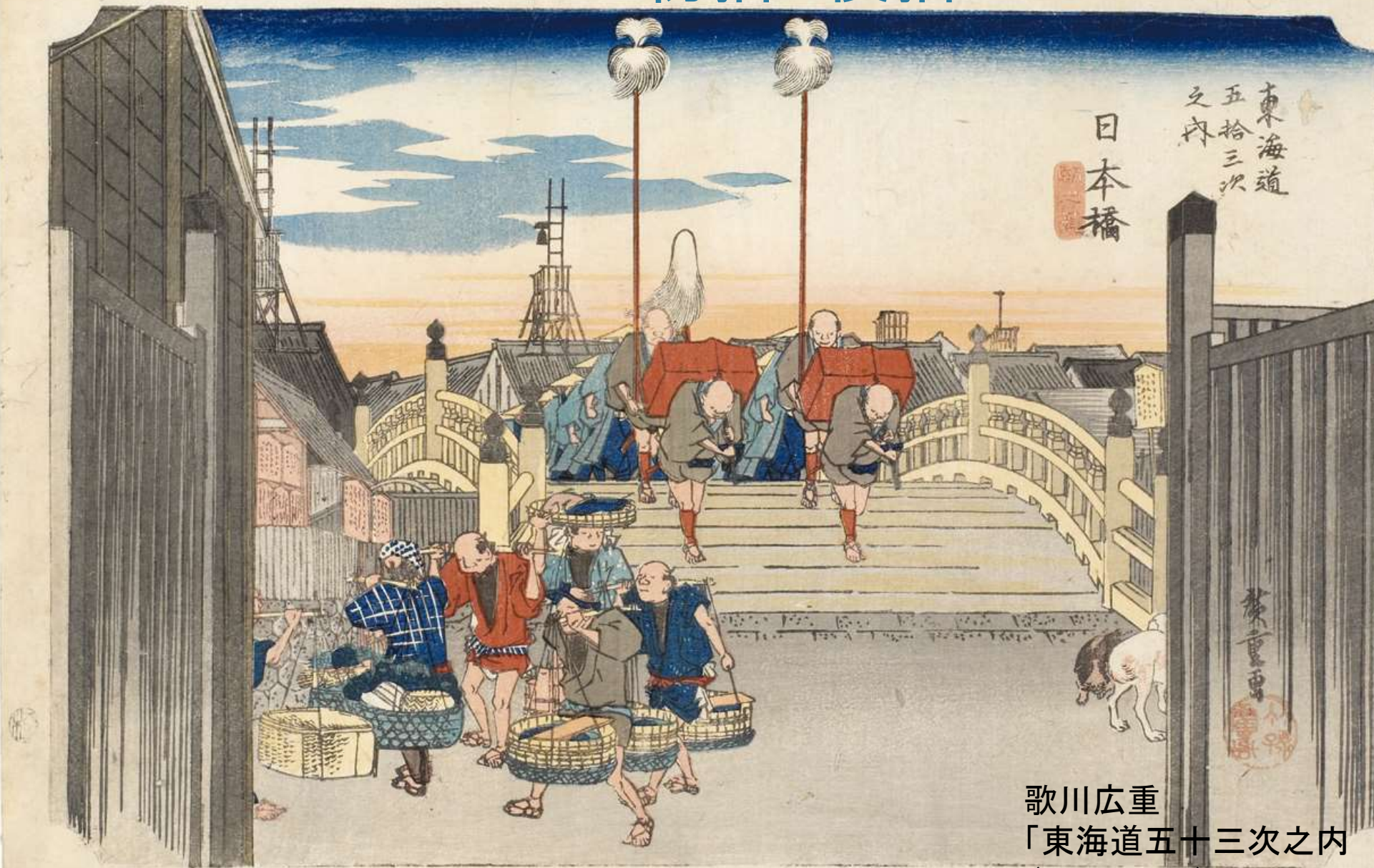
(B)



比べてみましょう！



初摺 後摺



東海道
五拾三次
之内

日本橋

歌川重

歌川広重
「東海道五十三次之内 日本橋 朝の景」
(c. 1833-34)



東海道
五拾三
之内

日本橋

歌川重

歌川重「東海道五十三次之内 日本橋 行列振出」
(c. 1833-34)

初摺 後摺

初摺以降は摺師のセンス次第



歌川広重
「名所江戸百景 亀戸梅屋敷」
(1857)



絵暦を売り物に

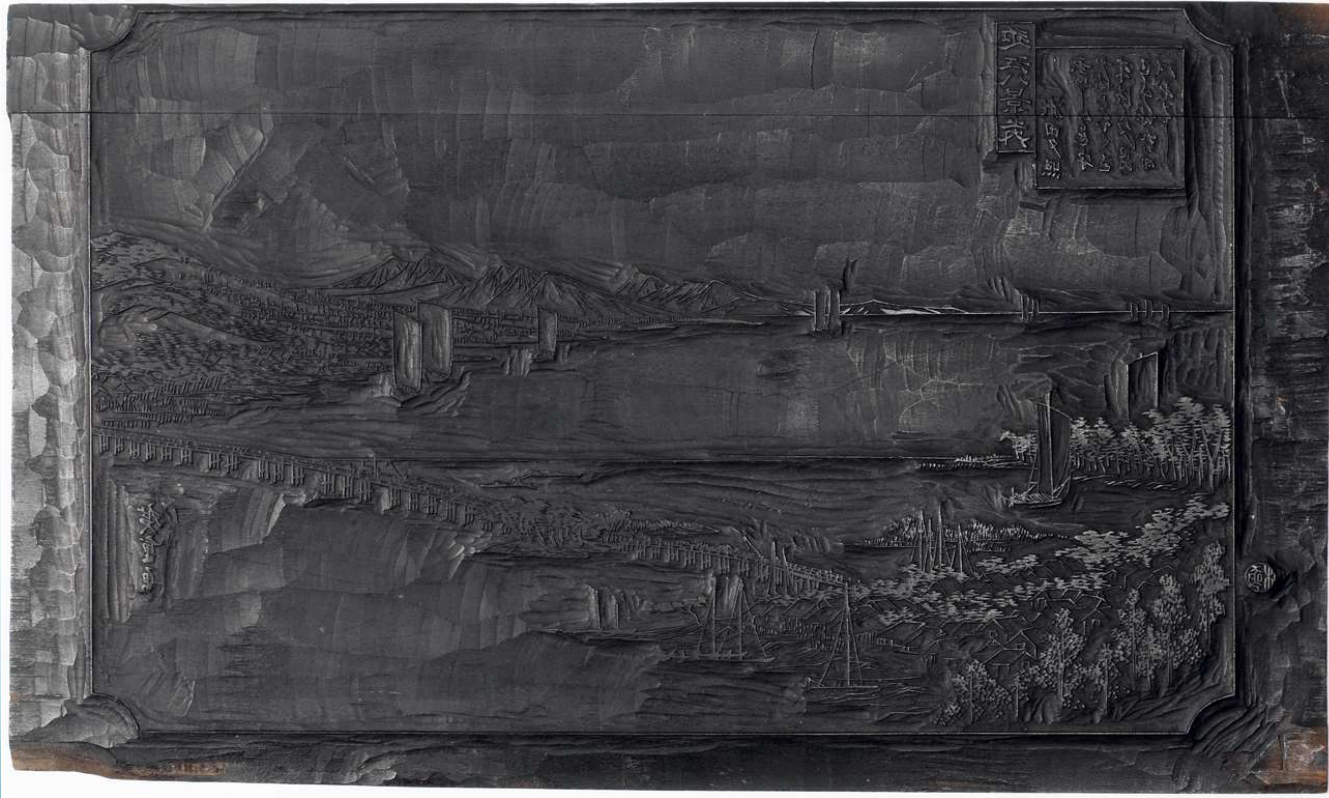
鈴木春信

「見立忠臣蔵 文を読む男女」(1765)



版木と完成品

板の上の超絶テクニック、彫師の仕事を見る



主版(おもはん)



歌川広重
「近江八景之内 瀬田夕照」(c. 1834)

張氏八景

張氏八景
其一 張氏八景
其二 張氏八景
其三 張氏八景
其四 張氏八景
其五 張氏八景
其六 張氏八景
其七 張氏八景
其八 張氏八景

間違い探し

次のスライドに出てくる2冊の
『武家百人一首』
の違いを見つけましょう

東月南周/菱川師宣
『武家百人一首』
(1672)



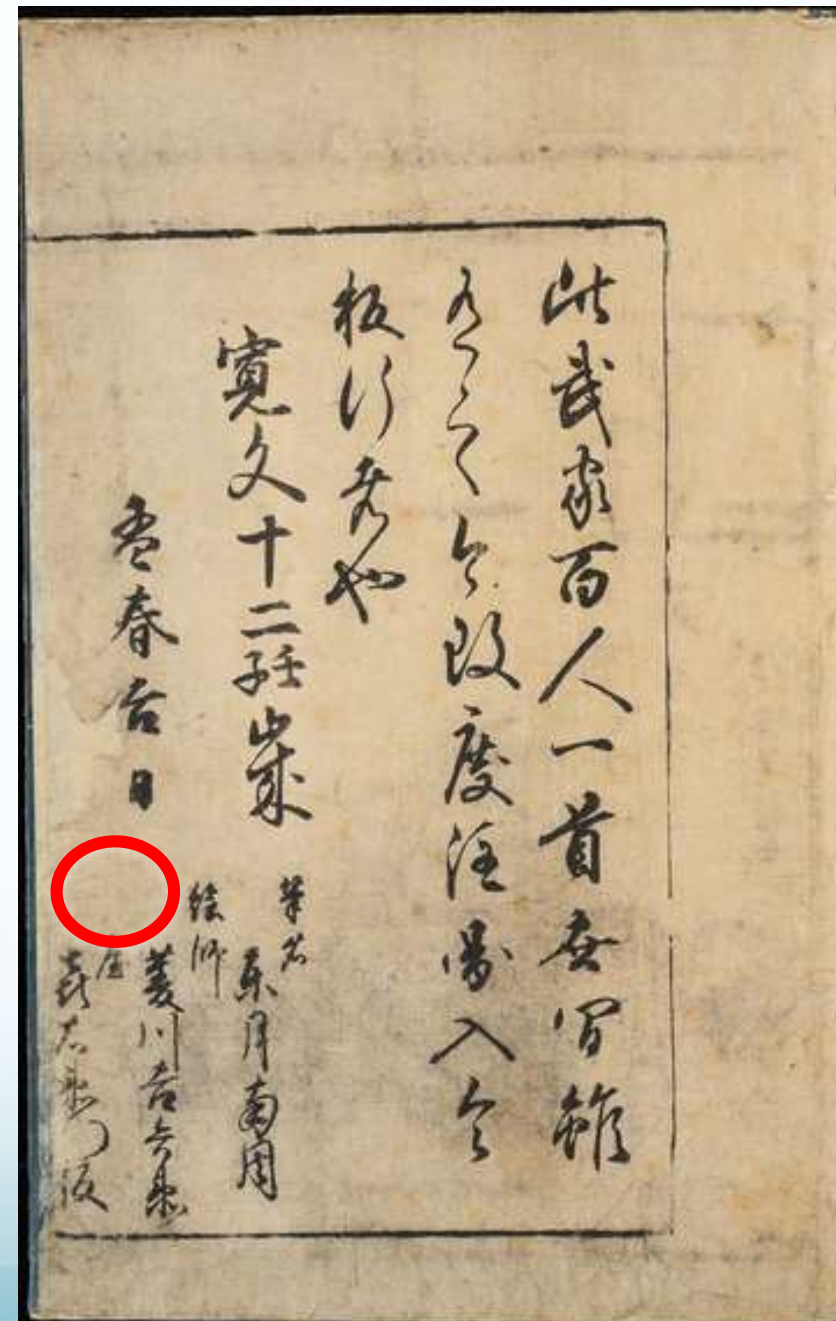
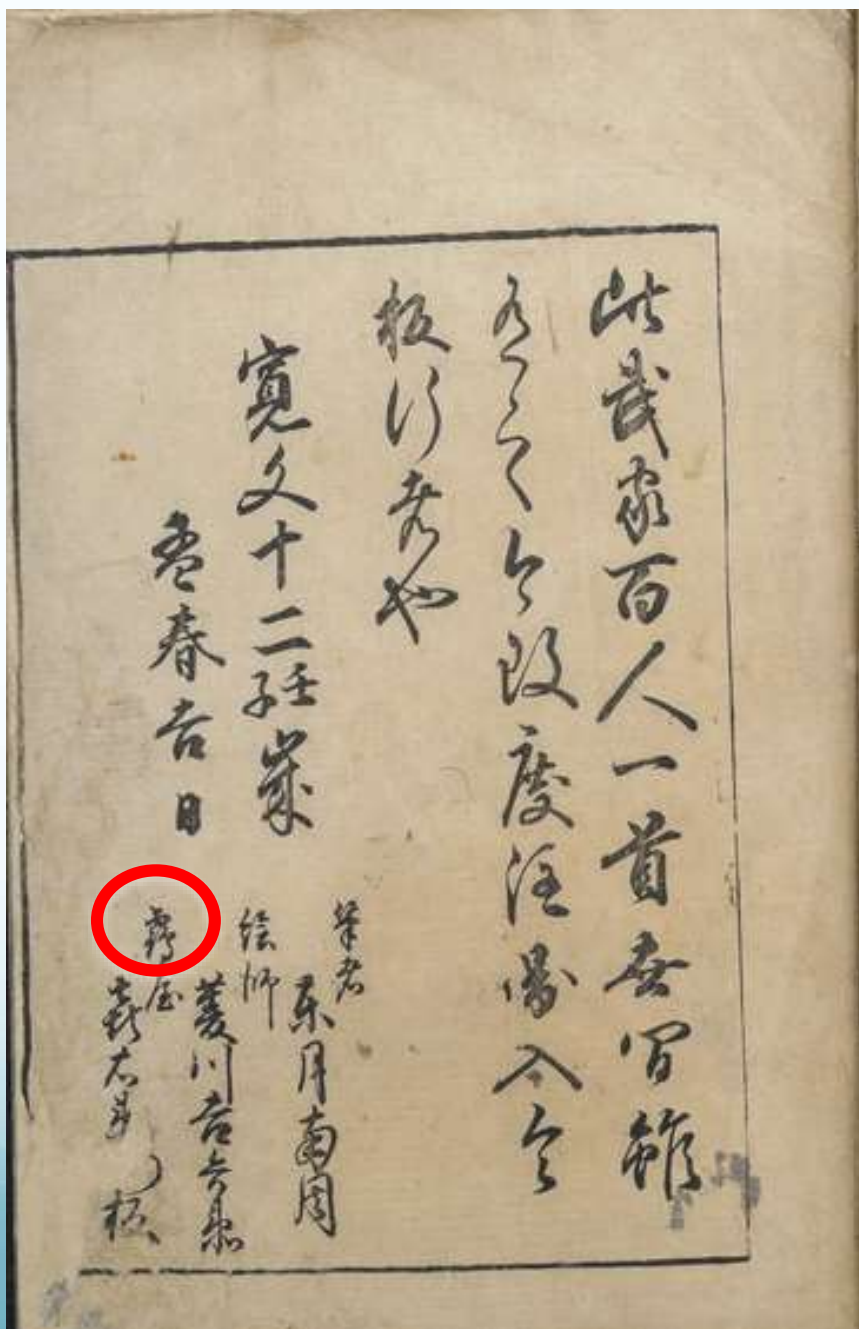
間違い探し

後印本では刊記に版元の
鶴屋喜右衛門の「鶴」の字が
消されている

なぜ？

五代将軍・徳川綱吉は長女・鶴姫
を溺愛するあまり、庶民に鶴の字と
鶴の紋の使用を禁じた

鶴字法度



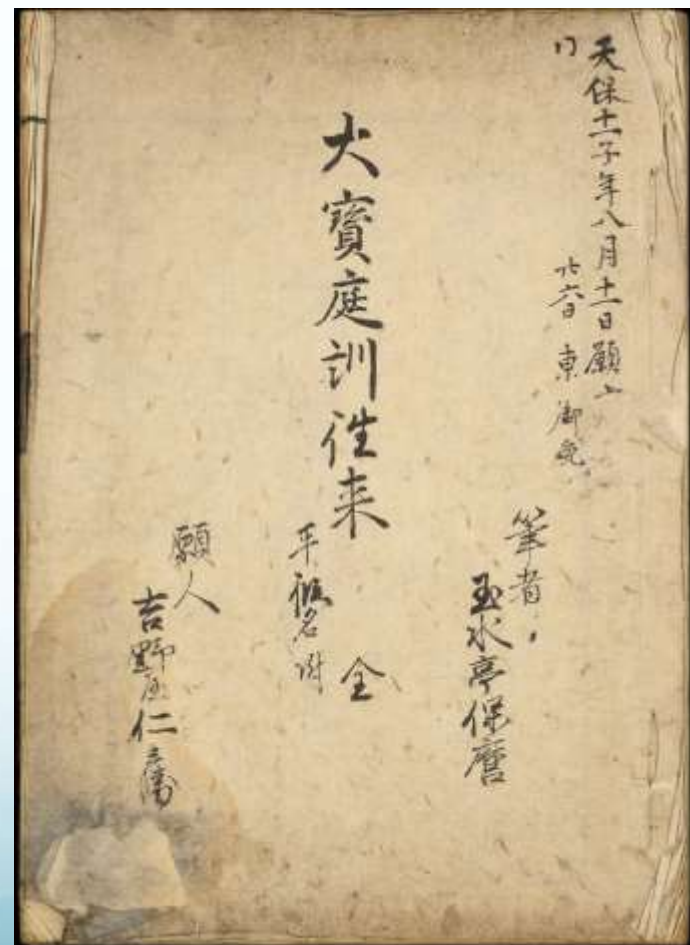
許可前・許可後

玉水亭保曆『大宝庭訓往来』（1840）

完成品



出願本



許可前・許可後

さて、どう変わったのでしょうか



完成品



出願本

吉原の花魁って才色兼備！

この掛け軸は誰の作品？

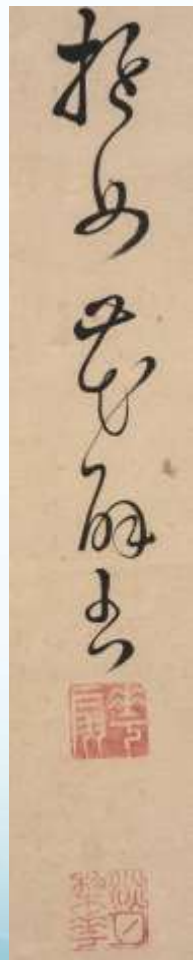


北尾政演

『吉原傾城 新美人合自筆鏡』

(1784)

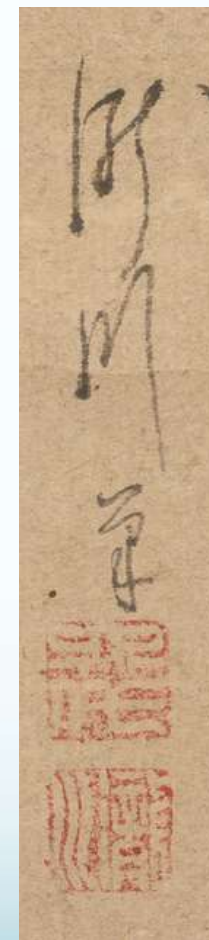
吉原の花魁って才色兼備！



喜多川歌麿
「江戸町一丁目 扇屋内花扇」(c. 1802)



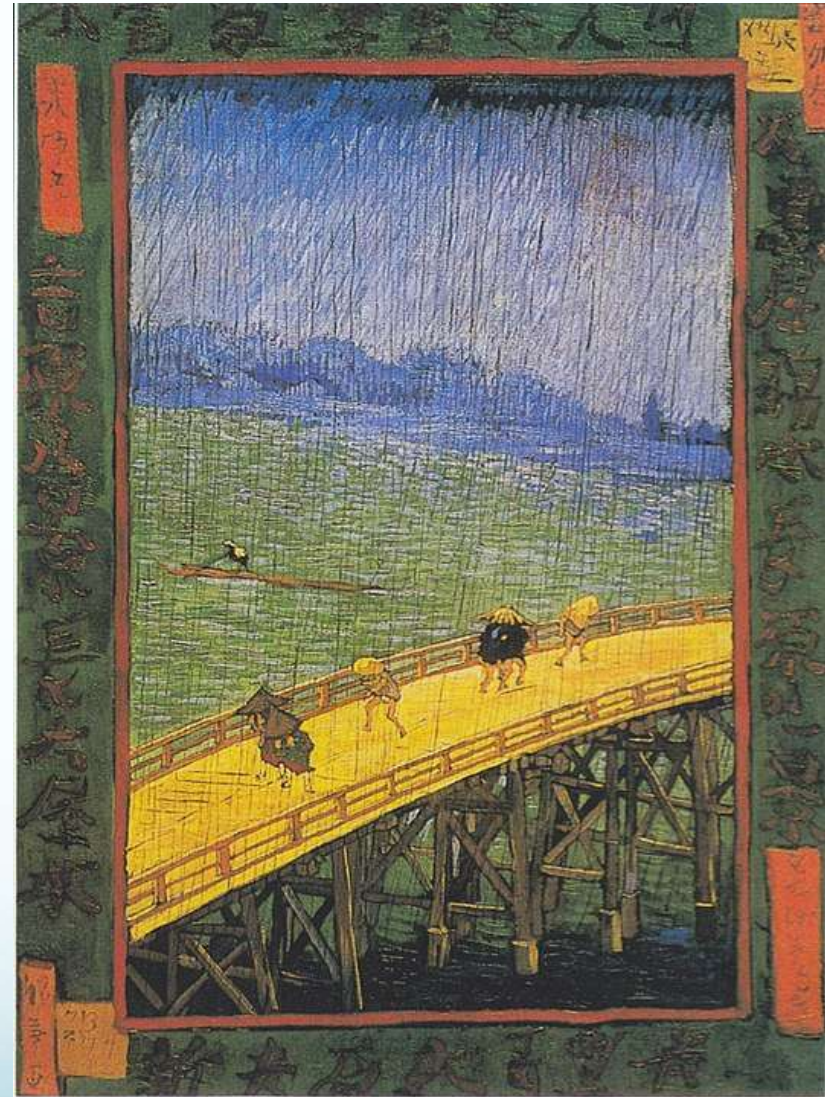
喜多川歌麿「扇屋瀧川」(c. 1802)



世界の巨匠が愛した浮世絵



歌川広重
「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」
(1857)



Vincent van Gogh
“Japonaiserie: Bridge in the Rain”
(1887)



世界の巨匠が愛した浮世絵



歌川広重
「名所江戸百景 亀戸梅屋敷」
(1857)



Vincent van Gogh
“Flowering Plum Tree”
(1887)

世界の巨匠が愛した浮世絵



Claude Monet
“Water Lilies”
(c.1917-19)



Claude Monet

“The Japanese footbridge and the Water Lil Pool, Giverny (1899)





ホノルル美術館ウェブサイト: <https://honolulumuseum.org>

オンラインデータベース: <https://honolulu.emuseum.com/collections>

本日ご紹介した浮世絵作品は、すべてホノルル美術館の所蔵品です。



次回はぜひハワイでお会いしましょう！

本日はありがとうございました。